

山村は災害をどう乗り越えてきたか

山梨県早川町の古文書・民俗・景観を読み解く

中央大学山村研究会 編 白水智 編集代表

脆弱で貧窮に見えがちな山村は、実はしたたかで大きな活力を持った地域であった――。

現山梨県早川町、近世に「早川入」と呼ばれた山間地域をフィールドとして、当地の人々が暴風雨・日照り・地震などさまざまな災害といかに向き合ってきたかを跡づける。

地元に残る古文書など歴史史料の調査・整理と丹念な読み解き、聞き取り調査や景観観察、それらを踏まえた現地での講演会や古文書講読会など、地域に密着した活動を三〇年にわたり続けてきた研究会の成果。文理融合・学際的な視野に立ち、災害といういわば非日常の危機を切り口に、山村の姿をさまざまな側面から検証する。

そこから明らかになってきたのは、驚くほどに強靱で野太い山村の生活のありようや資源の豊かさであった。日本の山村が災害に直面して見せる強靱な姿を解き明かす。



◎目次◎

カラー口絵／はじめに

序章 フィールドから探る山村の歴史像 ―災害の視点と本書の立ち位置（中央大学山村研究会）

I 早川の自然条件と災害

早川の災害と地形（長谷川裕彦・佐々木明彦）

古文書に描かれた森林の様相から災害リスクを考える（小山泰弘）

II 災害と技術

水害への対応と治水技術（西川広平）

災害復旧にみる往還の御普請と利用（高野宏峰）

III 災害と社会

災害をめぐる山村と領主（白水智）

・コラム 貯穀と早川入の村々（岩橋清美）

山村の災害と歴史語り（柴崎啓太）

災害と作物被害（成畑誠）

・コラム 近世山村の飢饉（山本智代）

山の地震誌（寺島宏貴）

・コラム 山村と地震（加納靖之）

IV 災害の幸いと祈り

災害の幸い（田中悠介）

・コラム 現代の早川に暮らす人々の災害の乗り越え方（柴田彩子）

御普請世話人斎藤善左衛門の狂歌づきあい（鈴木努）

山村における病とまじない（赤澤春彦）

災害と民俗（松本美虹）

・コラム 歴史学と民俗学のはざままで（西村敏也）

V 地域史料をたどって

山村研究会と早川調査（荒垣恒明）

・コラム 中央大学山村研究会創立のころ（福田英一）

災害跡地を歩く（中央大学山村研究会）

・コラム 獣害への対応（中西崇）

終章 災害から読み解く早川入の山村世界（早田旅人）

早川災害史年表 近世編（高野宏峰 責任編集）

A5判・並製本・388ページ
定価 3,080円（税10%込）

本書の序章を Web で公開しています



発行 **ちいご** 小 子 社
(2018年6月設立)

〒606-8233 京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 FAX075-708-6839
https://www.chiisago.jp mail: info@chiisago.jp

■ご注文方法■ 小 子 社 の 書 籍 は、最 寄 り の 書 店 ・ ネット 書 店 で 注 文 で き ま す 。

(1) 書店へご注文

(2) 小 子 社 Web ショップから、直接ご注文いただくこともできます。

(クレジットカード決済のみ) 右QRコードをご利用ください。

(3) 下記注文書にご連絡先をご記入の上小社に FAX またはメール・お電話

→折り返し振込先をお知らせいたします。

先払い・送料別途（1冊送付の場合350円、2冊：650円、3冊以上：950円）

FAX075-708-6839 メール info@chiisago.jp



小 子 社
Web ショップの
本書ページへ

注文書『山村は災害をどう乗り越えてきたか』 定価 13,080円（税10%込） ISBN978-4-909782-13-7 小 子 社 行

冊数	お名前	メール	TEL
冊	ご住所 〒		
	*公費払いの場合必要書類をお知らせください		